

いといけないというところで、経営改革委員会の提言があったと思います。宇仁地区の方には非常にご迷惑をおかけしていることは承知しており、加西市全体の教育をよくするための産みの苦しみの期間だと理解していただければと思います。

小中一貫校方式について



井上芳弘 議員
(日本共産党)

問

小中一貫校方式について、一体型、連携型、隣接型とあるが、北条東小学校と北条中学校の関係からいっても、連携型を土台にして、ソフト面を充実させて進めていかざるを得ないのではないかと。

答

全国の先進事例は一体型が多いですが、すべての施設で一体型ではなく、連携型や隣接型等、立地条件に合わせながら高めていくということと、兵庫県としても小学校ら、6年生に教科担任制を導入する等、小中のスムーズな接続に力を入れています。加西市も先

進事例を参考に、研究をしたいと思っています。

里山整備事業、林道・市道の整備計画について



西川正一 議員
(正睦会)

問

旧小谷城跡地を利用した旧北条町、小谷町を中心に、桜、紅葉の植栽の西は畑町、西谷西、西谷町、谷町及び東は栗田町、横尾町、古坂町及び鴨谷町に通じる尾根つづきの計画、小谷城跡地の復元及び構想について、2月27日に小谷城跡保存会が編成した森林ボランティア活動支援事業の計画書が県に採択された。どのように計画しているのか。また、これに通じる小谷城から下若井町の市道、畑町から下若井町の林道の整備計画はどのように考えているのか。

答

小谷の城址保存会が申請された森林ボランティア活動支援事業は兵庫県緑化推進協会が募集し、小谷城址周辺が対象となっており、森林ボランティアで整備していることと

いうものです。城山は北条小学校、中学校の校歌にあるように、卒業生にとって非常に思い入れの深い山で、里山縦走を復活させ、里山もきれいにしようという取り組みが緑化事業が衰退し、再度立ち上げようとするものです。市道北条若井線については、平成2年に拡幅工事の早期着工についての請願が採択をされています。現状は防塵舗装で路面が悪く、道路幅が狭いために通行車両の利用にも支障を来しています。路線を整備する事業費は莫大で、現在の財政状況等を考えれば非常に困難ですが、社会経済情勢が好転すれば、請願に沿った計画も可能と考えています。それまでの間は路面補修、障害樹木等の除去等で、通行車両の安全の確保に努めたいと考えています。林道畑線については、非常に荒れており、一般車両は通行どめとなっていますが、緊急時には使っていたくようにしていきます。



林道畑線

3月議会トピックス

懲罰動議・処分要求

12月21日の本会議で西川議員から提案され、継続審査となっていた、12月14日の懲罰特別委員会において県の報酬審議会の資料を不正に入手したかのような侮辱する発言があったとする小谷議員に対する処分要求については、閉会中に計3回にわたって懲罰特別委員会が開催されました。事実を確かめずに根拠もなく不正に入手したと決めつけることは問題等の意見が述べられ、陳謝の懲罰を科すると決定されました。本会議では討論において、不正では討論において、不正で入手したかどうかは発言者で証明すべきである等の意見が述べられ、採決の結果、全会一致で陳謝の懲罰を科すると決定されました。

品位の尊重に違反する言動があったとする小谷議員に対する懲罰動議については、懲罰特別委員会では、議員として取るべき言動ではないが、休憩中の言動には懲罰を科することができないため、言動が休憩中かどうかについて議論され、テープやインターネット中継で音声は確認できないが、懲罰動議の内容と思われる部分がある等の意見に対し、休憩中としか考えられない等の意見が述べられ、厚生委員長にも確認したところ、開会中であつたことで、5日間の懲罰を科すると決定されました。本会議では討論において、賛成意見として、客観的な物証をもとに許してはいけないことと判断したという意見、休憩中であれば何を言ってもいいということではなく、一連の会議の範疇という意見が述べられました。反対意見としては、開会中だと思い込んでいたが、再度確認すると休憩中のことであるという意見、懲罰を科すことはやむを得